



て、思いのまま楽しんでいきます。しかし、経済的に余裕がない留学生は、常に生活費を切り詰めてアルバイトをして学費を捻出するのとに精一杯になっていきます。もちろん、留学生にとっては勉強が一番大事なことです。

ですが、私たち留学生は勉強と同じくらい日本に溶け込む努力をする必要があると思います。

「溶け込む」とは、液体や気体の中に他のものが解けて混ざるということです。これを人に例えると、その場の雰囲気などになじむことだと思えます。

日本に来る前に、日本のドラマやアニメで「KY」という言葉を耳にしました。調べると、「KY」は「空気を読む」の頭文字で、主に空気が読めない人を意味するものです。この言葉から、日本人は空気を読むことがとても大事であることがわかりました。私は「空気を読む」ことは、すなわち「溶け込む」ことだと思えます。それでは、日本に溶け込むため

にはどうすればいいでしょうか。

私は、「郷に入っては郷に従え」ということばがあるように、日本のルールを守り、日本人の生活を理解し、それに合わせるようにしています。例えば、右側通行を守り、マスクは風邪を引いた場合だけでなく、風邪予防や、女性の場合は化粧していない時もするのとを理解し、また日本人と話題を共有するために新聞を読んでいます。

しかし、このように一生懸命努力しても、日本の小学生に比べるとまだ身につけていないことがたくさんあることに気づかされ、日本で生活していく自信をなくしてしまいました。

そんなある日、いつものようにスーパーのレジで働いていた時に、お客さんが私の名札を見て、「新年おめでとう」と言ってくれました。その日は日本のお正月も過ぎた頃だったので、私はきよとんとしました。それをみたお客さんは理解したように笑っていました。

その時やっと私は、その日が中国の春節であ

ることに気づき、とても感動しました。

「明日になれば君をきつと、今よりもっと

好きになる」。この小田和正の歌の歌詞と同じ

ように、私はますます日本が好きになってい

ます。さっき紹介した優しい日本人がたくさ

んいることを信じて、私はもっともっと日本

に溶け込みたいです。日本に来てまだ1年足

らずで、今はほんの少ししか溶け込めていま

せんが、これから少しずつ溶け込んでいきたく

いと思います。

ご静聴ありがとうございました。